

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 救護施設
施設名 阿南富草寮

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 支援の基本と権利擁護	(1) 支援の基本	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>○基本理念として「その人らしい暮らしを求めて！」を掲げ、倫理綱領を定めている。本文に“利用者本位、自立支援”の項があり、利用者の自己決定を尊重する旨が明記されている。</p> <p>○個別支援計画作成時には、利用者の希望・要望を聞き取り、アセスメントに活かして作成し利用者の確認をとって取り組んでいる。</p> <p>○衣類の購入や散髪などは希望を聞いて実施している。趣味活動等についても、手芸や、ぬり絵・計算ドリル等希望に応じて取り組めるように必要な支援を行っている。</p> <p>○利用者とは、毎月、全体及び各棟で話し合いがあり、日常生活についての意見が出されている。</p> <p>○毎月の支援会議では、虐待防止について目標に対しての振り返り等の話し合いを行っている。</p> <p>○今後、アセスメントした利用者の状態を総合的に検討して個別支援計画を立案し支援を行うことが望まれる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 8 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 9 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 10 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 11 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 ■ 12 必要に応じて他法による福祉サービスを利用できるように支援している。 ■ 13 利用者が死亡した際の手続き等を確認し、適切に実施している。 	<p>○アセスメントは、8領域で構成されており、日常生活に関する領域・社会生活技能に関する領域・社会参加に関する領域等があり、利用者の心身の状況や生活習慣等を理解して自律・自立に配慮した個別支援を行っている。また、状況を見ながら見守り、必要に応じて支援をしている。</p> <p>○利用者の状況に合わせて、療育手帳取得の手続き、介護認定の申請等支援している。また、必要に応じて、地域移行や高齢者施設への入所等利用できるよう支援を行っている。</p> <p>○利用者が死亡した際の手続きについてはマニュアルを整備して、家族や福祉関係機関への連絡等適切に実施している。夜間、病院で亡くなった場合の手順をすぐに対応できるように各棟準備している。</p> <p>○利用者の自律・自立生活の支援をさらにすすめるよう期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 15 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 16 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 17 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 18 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>○アセスメントにおいてコミュニケーションに関する領域のなかで、3項目に分けて状況を把握している。利用者の心身の状況に応じて文字盤の活用、自閉傾向で話をしない場合は筆談をするなど、工夫してコミュニケーションを図っている。</p> <p>○精神保健福祉士によるトレーニングを行う利用者もおり、コミュニケーション能力を高める支援を行っている。今後、コミュニケーションについて個別的な配慮が必要な利用者に対して、個別支援計画に位置付け支援されることが望まれる。</p>
			④ 利用者の自己決定を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 20 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 21 利用者の自己決定の支援を適切に行っている ■ 22 相談内容について、関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 23 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>○利用者が直接言うてくることもあるが、その場で話が聞けない時には時間等を決めて個別に話し合う機会を設けている。話や相談内容について、適切な情報提供や説明を行い、自己決定できるように支援をしている。</p> <p>○毎月の支援会議等で個別のケース会議を実施しており、相談内容や利用者の状況について職員間で情報の共有がなされている。</p> <p>○個別支援計画を見直す際には、担当職員が利用者と時間をかけて話を聞いており、個別支援計画に反映する仕組みがある。立てられた計画は、利用者が確認している。さらに、利用者の自己決定を尊重する支援を期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			⑤ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 25 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 26 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 27 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 28 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 29 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>○アセスメントでは社会参加や就労に関する領域で、利用者の状況や希望について情報収集して整理し、個別支援計画を作成している。</p> <p>○作業活動として、室内作業や農作業、外就作業等があり、利用者の希望や能力・体力等を考慮して作業を選択している。レクリエーションや余暇・スポーツは、毎日実施しているラジオ体操、棟単位のボーリング大会、カラオケ、ちぎり絵やおやつ作り、ぶどう狩りやいちご狩りなど、年間通して計画され実施している。</p> <p>○地域に貢献できる施設を目指しており、地域参加や地域交流を基本目標に掲げ、地域のマラソン大会やお祭りへの参加等の情報を提供し、参加支援を行っている。</p> <p>○個別支援計画について、毎月のまとめと総合的な支援計画についての振り返りを行い、支援内容等の検討見直しを行っている。さらに、アセスメント内容を個別支援計画に反映させ、支援内容の検討・見直しを充実させることが期待される。</p>
			⑥ 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 30 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 31 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 32 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている ■ 33 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 34 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○3棟の居室のうち、一部をバリアフリー化、安全のためベッド下にマット対応、床の張替えなど、より安心・安全に過ごせるように改修を進めている。</p> <p>○各棟に談話室があり、思い思いに過ごせるように配慮している。今後、洗濯場、和室の居室等さらに快適性と安心・安全に配慮した生活環境の充実が望まれる。</p> <p>○特別室が二部屋あり、感染症発症時の対応、利用者の精神的な安定のため等に活用している。</p> <p>○利用者の話し合いの際意向を聞いている。また、個人的にベッドにしてほしいなど希望が出された時に検討して、生活環境の改善に取り組んでいる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	<p>① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。</p> <p>○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。</p>	c)	<p>□ 35 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。</p> <p>■ 36 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p>■ 37 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</p> <p>■ 38 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</p> <p>■ 39 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p>■ 40 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</p>	<p>○虐待防止委員会が設置されており、委員会の定期的な開催、権利擁護に関する学習会、虐待防止についての職員アンケート等を実施している。職員アンケートに基づいて対策の検討を行い、会議等で職員に周知している。</p> <p>○虐待防止の指針が有り、身体拘束マニュアルに沿った具体的な取り組みや実施方法を明確にして職員に徹底しており、やむを得ない場合には経過観察、検討記録等を残すなど行っている。</p> <p>○今後、利用者に対して、権利侵害の防止等のための具体的な内容・事例を収集・提示することが望まれる。また、倫理綱領等について継続的に職員の学習会を実施し利用者の権利侵害の防止等に関する取り組みをさらに徹底されることを期待したい。</p>
	2 生活支援	(1) 日常的な生活支援	① 利用者の障がい・疾病等の状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<p>■ 41 職員は支援に必要な専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>■ 42 利用者の障がい等による行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■ 43 利用者の不適応行動などの行動障がいに関し個別かつ適切な対応を行っている。</p> <p>■ 44 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>■ 45 利用者の障がい等の状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>○アセスメントの日常生活や社会生活技能に関する領域で健康状態や対人関係、支援上配慮が必要な行動等の項目で利用者の状況を把握して、支援している。</p> <p>○県内外の各種研修や施設内での研修を実施して専門知識の習得に努めている。また、介護福祉士の資格取得を推奨して支援の向上をはかっている。</p> <p>○利用者の行動障がい等について、ケース検討を行い情報の共有・統一した支援に努めている。今後、利用者の行動障がいについて個別支援計画に位置付け、支援方法の検討や見直し等に取り組まれることが望まれる。</p> <p>○利用者間の関係調整は、状況や利用者の話を聞きながら、必要に応じて部屋替えをするなどの調整を行っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者の心身の状況に応じた日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 46 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 47 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 48 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	○日常生活に関してアセスメントを行い、利用者の状況に応じて標準的な実施方法をもとに入浴・清拭・排泄・移動・移乗の支援を行っている。今後は、支援内容を個別支援計画に位置付けて支援されることが望ましい。
			③ 利用者の嗜好や心身の状況にあわせて食生活を支援している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として、おいしく食べられるように工夫されている。 ■ 50 食事を選択できるよう工夫している。 ■ 51 食事の環境と雰囲気づくりに配慮している。 ■ 52 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 53 誤嚥、窒息など食事中の事故発生の対応方法や衛生管理の体制を確立し、日頃から確認と徹底を行っている。 	○食堂は改築して広く明るくなり、それぞれの席で食事ができるようになっている。嗜好調査を定期的に行い、季節にあった献立や畑で収穫した野菜を使うなど、美味しく食べられるように工夫されている。また、定期的に全国郷土料理を取り入れた食事の提供、外食の日の設定は楽しみの一つになっている。 ○事故対応マニュアルを整備し、救急法講習会を実施している。食堂には吸引器を設置し、すみれ棟とたんぼぼ棟の利用者は、嚥下体操を行うなど事故防止に努めている。衛生管理の体制も確立しており「調理等における点検表」で毎日チェックを行っている。 ○引き続き食事環境の見直し、嗜好や心身の状況にあった食生活、事故防止について検討されることを期待したい。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた生活訓練や機能訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 55 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 56 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 57 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 58 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>○毎日のラジオ体操、健康運動教室、重度・高齢者を対象にした音楽療法、職員がゲームやお楽しみ活動をしながらの機能訓練などに取り組んでいる。</p> <p>○アセスメントの日常生活に関する領域等で心身の状況を把握し、状況に応じて月1回理学療法士の機能訓練を受けている。今後、必要に応じて機能訓練・生活訓練内容を個別支援計画に反映させ、定期的なモニタリングを行ない支援の検討・見直しを行うことが望まれる。</p>
		(3) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康管理の支援と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 日頃から支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 60 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 61 利用者の障がい・疾病の状況にあわせた健康管理の支援や健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 62 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 63 利用者の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○健康管理については、健康保持・治療・機能回復等に配慮しており、嘱託医との連携を密にして取り組んでいる。定期健康診断や利用者の状況に応じて精神科・内科・皮膚科・歯科等の受診を支援している。歯科については個別に歯と口・口腔機能の治療管理について管理方法や治療方針の指示が出されている。</p> <p>○利用者の体調変化への対応マニュアルが整備されており、状況を見ながら看護師が検温・血圧測定を実施して、健康状態の把握に努めている。また、健康に関する研修会に参加した。今後、必要な支援については個別支援計画に挙げることを検討され、さらに健康管理の支援を充実することを期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 64 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 65 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 66 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 67 利用者の通院、入院などを適切に支援している。 ■ 68 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 69 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○服薬の管理については事故防止のための具体的対策についてマニュアルが整備されている。管理体制・指示内容の確認・対象者の確認・職員間の伝達等誤与薬防止に努め、看護師・支援員による三重のチェックを実施している。</p> <p>○医療的管理・支援が必要な利用者については、主治医の指示の下、健康管理と合わせて往診があり支援している。眼科や整形外科については、定期的な通院を支援している。</p> <p>○職員研修では緊急対応として吸引器の使い方を学んだ。さらに、医療的な支援に関する知識を深め、医療的な支援が必要な利用者について、個別支援計画に位置付け総合的に支援することが望まれる。</p>
	3 自立支援	(1) 社会参加の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 70 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 71 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 □ 72 利用者の希望と意向を尊重して資格取得等の学習支援を行っている。 ■ 73 利用者の社会参加の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>○社会参加について、社会的役割とレクリエーションの項目で利用者の希望や意向を聞いて支援している。年間行事には、旅行や温泉施設での入浴、レクリエーション大会、他施設や小中学校との交流、地域の行事への参加などがあり、希望者が参加できるように支援を行っている。</p> <p>○外出や外泊に関しては、事前の届け出が必要であるが柔軟な対応を心掛けている。</p> <p>○利用者の状況によるため、資格取得等の学習支援の機会がないが、必要に応じて支援する体制はある。今後も、利用者の希望と意向を尊重した社会参加の機会と支援の充実を期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 ■ 75 利用者一人ひとりに応じた就労支援を行っている。 ■ 76 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 ■ 77 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 ■ 78 仕事や支援の内容について、利用者と定期的に話し合いを行っている。 ■ 79 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。 	<p>○利用者の心身の状況を見ながら、一般就労は現在地域の施設の調理場で働いており、内職は地区内の企業から作業を受託、畑仕事では収穫した野菜等を販売するなど一人ひとりに応じた就労支援を行っている。また、精神保健福祉士による社会生活技能訓練の演習を実施している。</p> <p>○内職は賃金を支給しており、賃金を伴わない寮内の作業を担っている利用者には慰労会を開催するなど働く意欲の維持・向上のための支援に努めている。また、利用者の状況を見ながら、仕事や支援について話を聞いて対応している。</p> <p>○現在、新たな内職先の開拓を行うことと合わせて、地元企業への就職ができるよう取り組んでいる。さらに、利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を、個別支援計画にあげて進めることを期待したい。</p>
		(3) 家族等との連携・支援	① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 80 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 81 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 82 利用者の生活や支援について、家族等と交流する機会を設けている。 ■ 83 家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 84 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 85 帰省（外泊等）中の利用者と家族等の支援を行っている。 □ 86 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>○家族等の連携や支援は、家族との付き合い方（帰省、電話、手紙、情報提供など）を利用者や家族等の意向を把握して支援を行っている。</p> <p>○年1回の家族会、福祉関係者や職員が同席する一斉面接、レクリエーション大会への参加呼びかけ、広報誌の送付など、利用者の状況を知らせたり交流したりする機会を設けている。利用者の体調不良や急変時には緊急時対応マニュアル等に沿って、報告・連絡を徹底している。家族等の状況も変わる中、連携や家族支援についてさらに工夫されることが望ましい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 87 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 88 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 89 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 90 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 91 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>○利用者は10年以上の在籍者が約半数、65歳以上が6割を超えており、地域生活への移行が可能な利用者は限られているが、利用者の心身の状況や希望・意向を聞きながら地域生活への移行を支援している。</p> <p>○福祉や関係機関と定期的に話し合いを実施しており、地域生活の移行にあたっては、地域生活のイメージづくりや相談・情報提供をしながら不安を解消できるように支援している。また、施設内において、家事や身辺処理方法の習得、金銭管理など生活訓練を実施している。</p> <p>○地区内にあるグループホームの2階に自立支援棟があり、居宅生活訓練事業として居宅生活に向けた実体験的生活訓練を行っている。また、保護施設通所事業を受託しており、コスモス棟集会所において通所支援を行っている。</p>
	4 地域の生活困窮者支援	(1) 地域の生活困窮者等の支援	① 地域の生活困窮者等を支援するための取組や事業を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 92 地域の生活問題や生活困窮者等について、職員の学習や協議する機会を設けている。 ■ 93 地域の生活困窮者等の支援について、地域の関係機関や他の福祉施設・事業所と情報交換している。 ■ 94 生活困窮者等の支援における救護施設の専門性や支援ノウハウを関係機関等と共有している。 ■ 95 地域の生活困窮者等を支援するための事業・活動を実施している。 ■ 96 地域の生活困窮者等の支援ネットワークの構築や事業・活動に参画・協力している。 	<p>○地域生活困窮者に対して、生活支援等を実施する訪問事業、生活困窮者自立支援法に基づき一時生活支援事業、生活困窮者就労訓練事業（中間的就労）などに取り組んでおり、地域の関係機関や他の福祉施設や事業所とも情報交換を行い支援している。今後、職員の学習や協議する機会を設け、更に地域における施設の役割を充実させることを期待したい。</p>